

令和5年度（2023）

学校関係者評価委員会（議事録）

学校法人 穴吹学園

専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ

令和5年度 学校関係者評価委員会

日 時：令和5年9月8日（金）16時～17時

場 所：専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジ（高松市西の丸町14-10）

201教室

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジの自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会（委員一覧）

（委員）

藤田 隆良	高松市西部自治会 会長
森川 崇	香川県立観音寺中央高等学校 元校長
大平 徹	香川県立飯山高等学校 校長
植田 真治	香川県洋菓子協会 会長（欠席）
松本 ムツ子	香川県介護福祉士会 理事
村上 明日香	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 保護者会 支部長
長谷川 直子	学校法人 穴吹学園 卒業生

（学校教職員）

鏡原 寿吉	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 校長
戸倉 潤也	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 副校長
西岡 巧	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 教務部長
木曾 真理絵	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 主任
渡辺 宏子	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 主任
金井 太佑	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 主任

3. 鏡原学校長挨拶

地域社会に貢献できる人材育成について

新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの学校生活について

学生募集状況について

就職状況について

4. 議題

(1) 自己評価結果の説明・報告（自己評価報告書参照）

①教育理念・目的・育成人材像【評価A】

●理念を定め、広く周知しているか

→ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーが記述されたカリキュラムブックを入学希望者に幅広く配布した。

→教育理念・建学の精神が記述された学校案内パンフレットを入学希望者に幅広く配布した。

②学校運営【評価A】

●運営方針を教職員に周知しているか

→教職員大会にて本年度の運営方針が周知されている。

●事業計画を作成し、執行しているか

→運営方針に沿って事業計画、年度予算を決定し運営している。

●業務の効率化を図っているか

→各教員に1台のPCを配備し、グループウェア（desknet's）及び学内統合システム（S-Wing）を業務に活用している。

③教育活動【評価A】

●教育課程（カリキュラム）は明文化されているか

→カリキュラムは学生便覧に掲載。シラバス、コマシラバスを学生に配布し「授業の学び」を明確にした上で講義を実施している。

●キャリア教育・職業教育を実施しているか

→新型コロナウイルス感染対策を徹底した上で施設、園と連携し可能な限りでの現場実習を実施した。

●授業改善への取り組み

→新型コロナウイルス感染拡大予防対策としてWebexを用いたオンライン授業を導入した。授業実施後に授業評価アンケートを実施し授業改善に務めた。

●成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

→入学時オリエンテーションにて学生便覧を用いて説明している。

留学生には学生便覧にルビを付け配布している。

●成績評価等を適正に行っているか

→各科目のシラバスに記入されている評価基準で適切に評価されている。

単位認定、進級、卒業判定会議を実施している。

●資格・免許取得のための指導体制がありますか

→正規授業時間および時間外で国家試験対策講座を実施した。

介護福祉学科に在籍する留学生の日本語レベルで国家試験対策授業は難しい面が多々見られた。介護福祉士国家試験合格率日本人100%、留学生35.1%

パティシエ・ベーカリー学科は製菓衛生師国家試験で95.6%の合格率に終わった。

模擬試験のデータ分析にも務めた。また、定期的に国家試験対策会議を実施した。

- 地域と協力連携した教育を行っていますか
 - 新型コロナウイルス感染予防対策を実施して、地域と連携した教育を実施した。
 - 新型コロナウイルス感染予防対策を実施して、校外実習、インターンシップ等は実施した。
- 地域の特性を活かした教育を行っているか。
 - 高松北警察署交通課に依頼し交通安全教室を開催している。
 - レアスイートについての授業を実施している。
 - 生活支援技術の実習では香川県の郷土料理の調理実習を実施している。

④学習成果【評価A】

- 資格・免許取得率の向上に向けての取り組みを行っているか
 - 介護福祉士
 - 介護福祉学科は45名が受験し名(留学生13名・日本人8名)が合格(合格率46.7%)。
 - 留学生：13/37名(35.1%) 日本人：8/8人(100%)
 - 留学生については日本語教育も実施していく。
 - 今後は模擬試験を実施し学生個々の状況を把握した上で対策講座を実施していきたい。
 - 保育士・幼稚園教諭2種(取得率100%)
 - 製菓衛生師(合格率95.6%) 23名中22名が合格

⑤学習支援【評価A】

- 退学率の低減が図られているか
 - 学校と保護者が協力・連携を図っていくことで退学者減数に繋がった。

介護福祉学科	退学者数	1名
こども保育学科	退学者数	2名
パティシエ・ベーカリー学科	退学者数	1名

(退学理由)

進路変更 2名、精神的理由 2名。
- 就職等進路に対する支援体制は整備されていますか
 - 就職キャリアセンターが設置され、専任の職員と担任が連携し保護者を交えて就職支援を実施している。
- 学生相談に関する体制は整備されているか
 - 問題を抱えている学生の割合が増えているため、担任が定期的に面談を実施している。
 - また、非常勤講師とも連携しクラス状況の把握にも努めている。
 - 令和5年度よりスクールカウンセラー(常勤)を採用予定。
- 卒業生の動向を把握しているか
 - 卒業時の進路状況は把握しているが、卒業後の就業状況は把握できていない。

⑥教育環境【評価A】

- 教育上、必要かつ十分な施設整備が整備されていますか
 - 関係する法令に適合し教育上十分な環境の設備が配置されている。

- 防災訓練等を実施していますか
→学校独自で年2回防災訓練を実施している。

⑦学生募集と受入れ【評価A】

- 学生募集活動を積極的、かつ効果的に行っていますか
→広報部と連携し全教職員で学生募集活動を展開した。
→学生募集実績
令和4年度（募集実績:令和5年度入学者）
入学者106名（委託訓練生5名を含む）：目標比111.5%（目標95名）
→こども保育学科 17名
→介護福祉学科 63名
→パティシエベーカリー学科 26名
- 社会人入学生の獲得に向け、対策を講じてますか
→県立高等技術学校から介護福祉学科・こども保育学科に委託訓練生を受け入れている。
令和3年度より県内各ハローワークを訪問しており、委託訓練生の獲得に繋げた。

⑧財務【評価A】

- 収支と支出のバランスは取れているか
→経営会議等にて定期的に財務状況の把握と検討が行われている。

⑨法令等の遵守【評価A】

- 適正な運営がされているか
→コンプライアンス室を設置し、法令順守に務めている。

⑩社会貢献・地域貢献

- 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか
→近隣道路の清掃活動（マイロード）を実施した。
新型コロナウイルス感染予防対策を実施して、地域と連携した教育を実施した。
県産食材を使用したレシピコンテストを実施した。

5. その他事項

特になし

6. 質疑応答

森川崇 様

スクールカウンセラーはどこにいるのか？

→9校を担当しているが、配置としてはこの校舎に配置されている。

状況に応じ各校を巡回している。

外国人は日本語学科から来ているのか？

→穴吹の日本語学科からは8割他の日本語学校は2割程度。年によって変動はある。

日本語レベルもそれぞれあるが、今年からN4以上である事を日本語学校の入学条件としてN3程度以上で介護福祉学科に入学してくる体制をとろうとしている。

大平 徹様

パティシエベーカリー学科 国家試験の合格メリットとは？

→現場ではなくても仕事はできる。待遇の面や知識、技術がしっかりと持っていることが証明される資格になる。

生活支援技術の郷土料理について

→生活支援技術の授業はパティシエベーカリー学科ではなく介護福祉学科で行なっている。

あん餅雑煮など香川の郷土料理を留学生にも知ってもらいたい機会になっている。

退学率について低いと思う。進路変更とあるがどこに進路変更をしたのか

→1人は結婚、1人は介護に向かないということで退学

精神的理由については、精神的疾患や学業を続けることができにくくなり退学といった事例があった。

学生募集について介護は難しいのか？

→介護の魅力を伝えつつ増やしていきたいと思う。

松本ムツ子様

介護福祉士会としても介護の魅力を伝える活動がコロナ禍もありできにくいのは事実ある。これからまた活動していきたいと思っている。

今後も卒業後の追跡を行いつつ介護人材の離職防止もお願いしたいと思います。

7. 副校長挨拶

お礼とご協力のお願い

以上